



1月 調布幼稚園だより

令和7年1月7日



『新年に寄せて』

新年あけましておめでとうございます

新しい年を迎えました。今年の干支は巳（へび）です。巳はへびが冬眠から目覚め地上に這い出すことから、冬に根を張った草木が芽を出し「新しい種子が生まれる」という意味があると言われていました。

このようなことから巳年は力を蓄えていたものが芽を出す「起点」の年、脱皮する特性と併せ「再生と誕生」を意味する年と言われています。他にも巳（み）と実（み）を掛けて「実を結ぶ」年と言われてたりもします。巳年が希望に満ちた良い年となるよう祈っています。

昨年11月に世田谷区私立幼稚園協会のPTA大会が開催され、記念講演で講師の山崎洋実先生のお話を伺う機会を得ました。『戦わないコミュニケーション』という演題で、コミュニケーションの極意やご自身の子育ての経験から「子育て論」のお話も伺いました。新しい年を迎えるにあたり、心を新たにす意味でも山崎先生の「子育て論」を皆様に紹介したいと思えます。

山崎先生は全国各地（時には海外にも）でご講演をされており、子育てのヒントがたくさんある学びの多い講演でした。

（その1）子育てにおいて、親は子どもにいろいろと期待をかけ、「あーしなさい」「こうしなさい」と小言を言い、親は我が子にないものを求めようとするが、他者から見ればいい面がたくさんあるはず、「ヤンチャで大変」と思う子も他者から見れば「元気で活発で明るい子」と、うらやむくらい元気な子に映る。子どもに対する見方を少し変えてみると、我が子の良いところに気付くことができるはずである。

（その2）子どもにはたくさん転ばせる方がいい。目の前の石（困難なこと）を親がどんどん除いていったら、子どもはいろいろなことに気付くことができなくなる。つまづくという体験をしないまま過ぎていってしまう。子どもは自分で体験することを通して物事のよし悪しを学んだり、困難を乗り越える力を身に付けていく。子どもの一つ一つの体験を除くことなく子ども自身に経験させることが大事である。

（その3）いつも自分自身を「ご機嫌」にしておくことが大事である。人の機嫌を変えることはできないし、性格を変えることも難しいし、考え方を考えさせることはとても困難である。そこで、自分で自分をご機嫌な状態にしておくことが大事である。相手の機嫌に左右されず、イライラしたりせずに自分が平常心を保つことができる。相手に怒ったり、感じ悪くしたりせずに普通に話せるということが大事である。

等々、「子育て」だけではなく、私たちが生きていく上で大切なことをたくさん学ばせて頂きました。本年も巳年に相応しい「新しいものを再生し誕生させる年」にしたいと思えます。

さて、調布幼稚園は、一年間の仕上げをする3学期を迎えました。この3学期は、子どもたちが次のステップに進んでいくための大事な時期です。

子どもたち自身も自分の成長を自ら感じ、大きくなったという喜びを表す時期だと思えます。そのような成長を認め、励ますことで自信をもって進級や進学をしてほしいと思えます。

新しい年が子どもたちにとって、自信をもって行動できる素晴らしい年になるよう願っています。

今年も皆様のご健勝をお祈りするとともに、地域の皆様、保護者の皆様にはご指導、ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。

1月の目標

全学年

- 寒さに負けず、戸外で元気に遊ぶ。
- 冬ならではの自然（霜、霜柱、氷、雪、日陰と日向の温度差など）に関心を持ち、自然の神秘や不思議さを体感する。
- 畑やプランターで育てているものの成長や、収穫を楽しみにする。
- 日本の伝統行事や文化に触れ、興味や関心をもつ。
- 感染症予防のため、手洗いうがいをしっかり行う。

年少組

- 担任やクラスの友達と一緒にリズム遊びや表現遊びを楽しむ。
- 鬼ごっこなどの簡単なルールのある遊びを、ルールが分かってみんなで一緒にすることを楽しむ。
- 友達と一緒に遊ぶ中で自分と同じ気持ちの子や、違う気持ちの子がいることを感じる。
- カルタや凧揚げなどのお正月遊びを通して日本の伝統的な遊びを楽しむ。

年中組

- いろいろな遊びに自分から取り組み、試したり繰り返し挑戦したりして遊ぶことを楽しむ。
- 友達との遊びの中で相手にも思いや考えがあることに気付くとともに、楽しく遊ぶためにはどうしたら良いか考えようとする。
- コマやカルタなどのお正月の遊びや、ルールのある遊びを通して、友達とかかわって遊ぶ楽しさや体を使って思い切り遊ぶ満足感や充実感を味わう。

年長組

- コマや縄跳びなど自分なりに課題に取り組む中で考えたり、試したりしながら自分の力を出し達成する満足感を味わう。
- 課題に個々の力を発揮して取り組んだり一緒に遊びを楽しんだりする中で、互いの力や良さを感じ、認め合う。
- ルールのある運動遊びを通して、チームが勝てるように作戦を考えたり、力を合わせたりしながら、勝負の楽しさや団結する楽しさを味わう。
- カルタやすごろくなどのお正月遊びを通して、日本の伝統的な遊びを楽しみながら数や文字に関心をもつ。

調布幼稚園の自然と子どもたち

「冬の自然現象の不思議を体験しよう」

顧問 外崎明美

新しい年を迎え、寒さも一段と厳しい時期になります。2025年の大寒は1月20日にあたり、冬も本番ですね。冬ならではの自然現象を間近に見たり、体験したりできるのではないかと考えています。以前大雪が降った年があり、雪だるまを作ったり、雪で型抜きをしたりして楽しんだことがあります。

12月後半には、畑などに張る霜柱をバリバリ踏んで音を楽しむ姿もありました。1月には例年、3センチほどもある霜柱が立ちます。バケツに張った水が朝、凍っているのを見て、自分たちでも色々な場所にお水を入れた容器を置いて氷作りを試します。日向、日陰いろんなところで試す様子があります。たくさんの不思議を体験して欲しいと思っています。年長さんは育ててきた大根抜きを12月にしました。大きい大根も細い大根も自分で抜いた大根を大切に持って帰っていました。年中さんはソラマメ、年少さんはカブ、霜の影響を受けず、大きく育てて欲しいですね。昨日は「七草がゆ」を食べる日でしたが、カブと大根は「春の七草」のすずな、すずしろです。お正月でお節料理を頂いて疲れた胃に優しい食べ物ですね。

木の枝には固くつぼんだ木の芽が見られます。おうちの方と一緒に見てはいかがでしょう。

